

# 第5期・新伊予市議会始動！



武智 実議員 谷本勝俊議員 佐川秋夫議員 森川建司議員 吉久俊介議員 大野鎮司議員 田中 弘議員 高田浩司議員 門田裕一議員  
 正岡 満議員 向井哲哉議員 川口和代議員 平岡清樹副議長 日野猛仁議長 北橋豊作議員 金澤 功議員 田中慎之介議員

# いよ

## 令和3年夏号

# 議会だより

### 6月定例会

【特集】新しい議会構成が決まりました！ ズバリ！正副議長に聞く！	2
【常任委員会報告】ため池ハザードマップ どのような配布方法を考えているのか？	4
一般質問 10人が市政を問う	6
今期もやります！ 議員のよこがお	19
特別委員会報告	20

# ズバリ！ 正副議長に聞く！

新しく就任した  
正副議長に抱負など  
を聞きました！



## 場を提供したい！

**○抱負は？**  
**日野議長**  
まずは、全ての市民の最優先課題である、コロナ終息を目指し「市民の命と健康を守ること」に全力で取り組みます。  
さらに、コロナ終息後の新たな市の目指す方向性として、コロナ以前の市民生活に戻ることだけでなく、さらに進化した市民生活の創造を目指します。市は、SDGsへの取り組みを積極的に推進しています。議会も理事者とともに足並みをそろ



ろえ、取り組んでいきたいと思えます。  
今回の議長就任の公約である議員間で切磋琢磨できる場として、議員勉強会を早速実施しました。今後も継続していきます。(19ページに関連記事)  
**平岡副議長**  
議長が安心して議会運営ができるようにさまざまなサポートを行いつつ、議員から<sup>かった</sup>関連な意見提案が出されるような環境づくりを目指し、1年間努めます。

委員会には、議会を円滑に運営するための**議会運営委員会**や市の仕事を各分野に分けて審査する3つの**常任委員会**があります。新・伊予市議会となった最初の1年間の意気込みを各委員長から聞きました！

### 総務委員会



市政の包括的な事案を担うのが当委員会です。今年度はコロナ禍で税収が落ち込むことが予想され、厳しい市政運営を強いられる見通しですが、こういう時こそ知恵を結集し、できることから着実に前に進まねばなりません。委員会審議を通じてさまざまな提言を行っていきます。



### 議会運営委員会



昨年度から、コロナ禍の影響により議会運営もさまざまな形で制限され、その都度知恵を出し合いながら取り組んできました。ようやくワクチン接種も順調に進み、コロナ終息とともに議会も「反転攻勢」に向け、取り組んでいきます。



# 議員間で切磋琢磨できる

○どのような議会を？  
日野議長

何よりも市民の声が反映される議会を目指します。そして、議員力を高めることによって、議会全体のレベルアップを図りたいです。

平岡副議長

議会の規律やルール、品格など古くて大事なことは守りつつ、これからの時代に相応しい若く新しい議会を目指します。

○市民の皆様へ！

日野議長  
新型コロナウイルス感

感染症の流行が長期化する中、市民の皆様にはご理解とご協力をいただき、

円滑にワクチン接種が進んでいることに心より感謝いたします。全ての市民の笑顔を目指し、議員一同、市政発展に取り組んで参ります。

平岡副議長

合併して第5期目を迎える市議会ですが、歴代で一番若い正・副議長です。議長を支え、議員全員がスムーズに活動ができるよう職務を全うして参ります。



副議長  
**平岡清樹**  
ひらおかせいき

■プロフィール  
現住所：上野  
趣味：働くこと・新事業開拓・釣り・外食全般  
座右の銘：圧倒的な差別化

## 新委員長から一言！

### 産業建設委員会



かわぐち委員長

農林水産業・商工業・都市整備・土木・環境など多岐にわたる所管分野を慎重かつ徹底した審議をしていきます。委員6人で現地調査も積極的に行い、調査・研究していきます。



まさおか委員

きたはし委員

おおの委員

もりかわ副委員長

かわぐち委員長

たなか(3人)委員

### 民生文教委員会



かどた委員長

新型コロナウイルスワクチン接種も軌道に乗り始め、日常を取り戻せる日も遠くはないと希望がもてるようになりました。まだまだ助けが必要な方がいらっしゃると思いますので、少しでも手助けできるよう、委員一同取り組んで参ります。



たかた委員

かなざわ委員

たちち委員

むかい副委員長

かどた委員長

むがわ委員

ため池  
ハザード  
マップ

どのような配布方法を考えているのか？  
関係する住民に全戸配布し、転入者にも配布する



今年度、ため池ハザードマップを作成する予定としている  
60か所のうちの1つ、うえのながおうわいけ上野長尾上池(上野)

産業建設委員会

ため池ハザードマップ  
作成業務委託料

**問** 市内98か所の防災重  
点ため池の未作成82  
か所のうち、今年度は60か  
所分を作成することになっ  
ているが、どのような配布  
方法を考えているのか。

**答** 農林水産課

今回のため池ハザード  
マップについて、現段階で  
は、旧伊予地区・中山地区・  
双海地区の3地区に分けて  
冊子を作る予定である。  
また、関係する住民に  
全戸配布し、さらに転入者  
に対しても配布する予定と

委員からの要望

しており、それと併せて市  
ホームページにも掲載する  
予定である。

**問** 本市には、ほかに防  
災マップ等もある  
が、関連性もあることから、  
分かりやすくするために所  
管課と連携し、まとめた冊  
子にできないのか。

**答** 農林水産課

防災マップ等との連携に  
ついては、多くの情報を掲  
載することで、さらに分か  
りづらくなる可能性が高い  
ため、今回のため池ハザ  
ードマップについては、基本  
的に別冊という形で考えて  
いる。

JR伊予市駅周辺整備基  
本計画策定業務委託料

**問** JAえひめ中央農協  
選果場部分を将来、  
整備計画に含める予定はあ  
るのか。

**答 都市住宅課**

基本計画で、米湊側と行き来する自由通路を設置する案を考えている。

**問**

駅前ロータリー内の駐車場所は、タクシーの乗降場所と距離が近く車が停めづらいため、改善できないか。

**答 都市住宅課**

駅前ロータリー内の駐車場については、タクシーの待合部分を2列から1列に減らし、駐車場の利用がしやすくなるよう、関係者と協議を行いたい。

**総務委員会**

**AIチャットボット**

**問**

市ホームページ上でAIが24時間対応で住民からの質問に自動応答するものと聞いている。この導入により、住民の利便性の向上と職員の対応縮減

**耐火創用手袋(※)**

**123 双購入**

**問**

消防団の41詰所に3双ずつ支給するとのことだが、団員のためにもっと購入数を増やすとともに、操法大会でも使用すべきでは。

**答 危機管理課**

今後も補助金等を活用して配備数の拡充に努めていきたい。また、操法大会での使用については、有効活用の観点も踏まえ、消防団とも協議のうえ、適切に対応していきたい。

(※)建設現場や工場、ガラス加工など鋭利な刃物を扱うときに保護する手袋のこと。

**民生文教委員会**

**看取り部屋の整備**

**問**

市内認知症対応型共同生活介護の2事業所の看取り対応が可能な個室を確保するための改修に

要する経費ということだが、どのような改修を行うのか。

**答 長寿介護課**

改修内容については、普段あまり使われていない部屋の改修や、余剰スペースに新たに部屋を区画し、その場所にベッド、看取りに必要な機材の設置を行い、看取り環境整備を行うことを予定するものである。

〈改修前の例〉



〈改修後の例〉



整備した個室は、看取りに利用することが原則だが、看取りとしての利用がない期間においては、入所者の静養や家族等の一時的な宿泊等に使用することが可能である。

**議案等議員別表決結果一覧表**

※日野猛仁議長は採決に入っていません。

令和3年第3回(6月)伊予市議会定例会  
[会期: 6月7日~6月25日 19日間]  
○: 賛成 ×: 反対

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	議決日	
氏名	田中慎之介	金澤功	正岡満	森川建司	吉久俊介	川口和代	向井哲哉	平岡清樹	大野鎮司	高田浩司	門田裕一	北橋豊作	日野猛仁	谷本勝俊	佐川秋夫	武智実	田中弘		
議決結果													議長						
請願第1号	地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する請願	採択	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月25日
発議第6号	地方たばこ税を分煙環境の整備に活用できる制度の整備を求める意見書	原案可決	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

[賛否の分かれた案件のみ記載しています。その他についてはすべて全会一致で可決されました。]

## 田中 弘 議員 (P 12)

- 1 上灘漁港漁船火災について
- 2 光ファイバの環境整備について
- 3 市街地の整備について

## 吉久 俊介 議員 (P 13)

- 1 上灘漁港火災被害の今後の支援について(共栄網分)
- 2 光ファイバ網の整備について
- 3 旧上灘保育所跡地の利用について

## 森川 建司 議員 (P 14)

- 1 花と史跡と田園を巡る「ふれあい歩道構想」仮称「大谷川あじさいロード」について
- 2 職員の懲戒処分について
- 3 歴史教科書の選定について
- 4 伊予市の安心・安全について
- 5 伊予市の新型コロナウイルス感染症に関する対応について
- 6 学校・幼稚園等におけるマスクの着用について

## 平岡 清樹 議員 (P 15)

- 1 GIGAスクール用パソコンの補償について
- 2 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について

## 田中 慎之介 議員 (P 16)

- 1 認定こども園の設置について
- 2 子どもたちの居場所について
- 3 IYO夢みらい館の利用料金等について
- 4 「3万人が住み続けられるまち」の実現のために

## 川口 和代 議員 (P 17)

- 1 みんなに快適な災害準備を
- 2 子育て世代に優しいまちに
- 3 空き家の有効活用を



小さなお子様連れでも議会の傍聴ができる「親子傍聴席」もありますのでお気軽にお越しください。(室内は防音ですが議場のマイクはスピーカーを通して聞こえます)

※通告順(発言順)に掲載しています。

# 一般質問

# 10人が市政を問う

6月定例会では、10人の議員が33問の一般質問を行い、活発な議論を展開しました。全質問項目は下表をご覧ください。8ページから質問した議員ごとに2問の質問を要約してお伝えします。なお、全文記録(議事録)は9月上旬に市ホームページ(<http://www.city.iyo.lg.jp>)の会議録検索システムにて掲載しますのでご覧ください。

※本人写真については、アクリル板越しの撮影であるため、機器の写りこみ等がありますがご了承ください。

伊予市議会



## 門田 裕一 議員 (P 8)

- 1 狭い道路解消について
- 2 ケアラー支援について
- 3 「ごみゼロ」のまちづくりを

『色付きの質問』  
は、次ページ以降に  
掲載しています！



ひの議長

## 金澤 功 議員 (P 9)

- 1 南海トラフ巨大地震が発生した場合の想定震度、津波の想定規模及び津波想定被害について
- 2 伊予市地域防災計画(津波災害対策編)の進捗状況について
- 3 「災害対策基本法等の一部を改正する法律」に伴う避難行動要支援者の個別避難計画作成の市町村の努力義務化について

9月定例会の日程は  
8月初旬頃にホーム  
ページに掲載予定です。  
広報いよし9月号でも  
お知らせします。

## 高田 浩司 議員 (P 10)

- 1 産後ケアや産婦健診の拡充について
- 2 幼児教育・保育の無償化について
- 3 区域区分の一部変更について

## 大野 鎮司 議員 (P 11)

- 1 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について
- 2 3万人が住み続けられる伊予市へ(居住編)
- 3 安心・安全な教育環境の推進について

※通告順(発言順)に掲載しています。

「ケアラー」への支援

# 実態把握のための調査を！

門田 裕一 議員



## (答弁) 可能な範囲で正確な実態把握を調査する

**問** 高齢、身体上、精神上の障がいまたは疾病等により援助を必要とする身近な人に対して、無償で援助を行っている人を「ケアラー」と呼ぶ。

全国で多発している介護を理由とした痛ましい事件を起こさせないために、ケアラーへの支援や法的基盤の整備が喫緊の課題である。

まずは、リスクの高いケアラーを早期に発見し、適切な支援につなげていくことが重要であるため、実態を調査する必要があるのでは。

**答** 在宅介護と就労の視点から、令和元年度に実施した調査における介護者の就労継続見込みでは、フルタイム勤務で約74%が影響を受け、さらに要介護2以上の介護者では約88%が問題を感ずるなど、仕事と介護の両立について、その困難さが伺えた。

なお、各支援団体からの報告や相談窓口の対応状況等により、特にリスクの高い事例については、概ね把握されているものと認識している。

さらに正確な実態把握に向け、今後、関係課が実施する各種計画策定時の調査等において、同内容を可能な範囲で包括したいと考えている。

**問** 家族や幼い兄弟の世話をする18歳未満の子どもは「ヤングケアラー」と呼ばれる。

本市としての実態把握、そして「チーム伊予市」で支援する体制が必要では。

**答** 先進事例を参考にしながら調査研究を行う。ヤングケアラー支援のためには、まずは実態調査が必要と考えるが、家庭内のデリケートな問題であるため、行うにあたって慎重になる必要がある。今後、先進事例を

参考にしながら、関係課と連携を取り、調査研究を行いたい。

### 「ごみゼロ」のまちづくりを

**問** 東温市では、3人以下の世帯に、

ごみ袋(小)を1年間で100枚、4人以上の世帯にごみ袋(大)を100枚配布している。家計負担軽減策の考えは。

**答** 本市の財政事情では無料配布は難しい。

本市の指定有料ごみ袋制度は、ごみの分別の徹底や減量化・資源リサイクル意識の向上、排出者の負担の公平性、ごみ処理施設の延命化の費用の捻出等の効果を得ているものである。また、有料化が廃棄物収集、運搬、処理に係る費用の一部になるため、本市の財政事情では、無料配布は難しいと思料しているため、現状を踏襲したい。



無料配布される東温市のごみ袋 (地区名と名前を書く欄がある)

**問** 長野県須坂市などが「生ごみ出しません袋」を無料配布しているが、本市も生ごみ資源にする社会、家庭ごみ処理無料化を推進し、ごみゼロのまちづくりを目指しては。

**答** 他市町の取り組みを参考に導入に向け検討する。

本市の市街地以外の地域では、堆肥化したり畑等に生ごみを埋めるなどが、地域によって実情が異なるため、導入には慎重にならざるを得ない。今後、他市町の取り組みを参考に導入の可能性に向けて調査・検討したい。

# 今後の個別避難計画の作成は？

金澤

功 議員



## (答弁) 着実に取り組みを進めたい

**問**

本年4月に「災害対策基本法等の一部を改正する法律」が成立し、自治体による避難行動要支援者(災害時の自力での避難困難者)の個別避難計画作成の努力義務が加わった。市地域防災計画の進捗も思うように進んでいない中、自主防災組織と市が一体となって協働するワーキングチーム等の組織を立ち上げなければ、5年間で計画作成は難しいと考える。

**答**

国の指針では、実効性のある計画とするために、庁内外(福祉専門職等を含む)の連携が必要とされており、その推進体制を整備した後、個別避難計画の作成と活用方針を検討する。また、できるだけ早期に作成できるよう、計画作成の優先度を検討し、対象地区と対象者を選

定する。そして、優先度の高い人は市が支援して計画を作成し、その他の人は、本人や自主防災組織等が働きかけることになっている。今後、国や県からの情報と支援、先進事例も参考にし、着実に取り組みを進めたい。

計画作成費用の予算計上時期については、推進体制や作成方針など取り組みの骨子が決まったら、必要となる予算を措置する。

**問**

個別避難計画作成のタイムスケジュールは。

**答**

令和4年度以降の4か年で作成に努める。今年度、庁内外の関係者・団体等による推進組織の編成、優先度の設定と計画作成方針の決定、対象者の絞り込みを行い、令和4年度以降の4か年で可能な限り対象者の計画の作成に努めたい。

避難行動要支援者の避難サポートする避難支援者の人数が全く足りていません。計画作成にご協力をお願いします！  
合言葉は「誰一人、取り残さない！」



### 南海トラフ地震発生時における被害想定

**問**

南海トラフ大地震の発生時に的確に行動するためには、市と住民との情報の共有が必要である。県が「津波災害警戒区域」として本市を指定したことで、対象区域での不動産売買と賃貸契約前の重要事項内で「津波災害警戒区域」であることの説明が義務づけられた。今後、分かりやすく、最悪想定災害規模等を住民や不動産業者に周知する必要がある。

本市の想定最大震度と地面からの想定最高津波水位、また、地面から浸水深が30cm以上になる想定最短時間は。

**答**

県の想定調査では最大震度は7である。

南海トラフ地震の被害想定は、平成25年12月に発表された県地震被害想定調査を基本としている。まず、本市の最大震度は7、最高津波水位は森漁港で4.3m、伊予港で4.2mと想定されている。

また、浸水深が30cm以上になる最短時間は、10分から20分で、住民の居住する地域に限れば、双海町上灘地区の一部が対象地域と想定されている。

**問**

想定最大津波での本市の想定人的被害(死者数)の内訳は。

**答**

冬場の深夜を前提として432人と想定される。

県が発表した想定では、冬場の深夜を前提に、死者数は432人と想定されているが、住民や買物客等内訳については示されていない。

# 「産後ケア事業」 利用料の軽減はできないか？

高田 浩司 議員



## (答弁) 今後の検討課題とする

**問** 産後うつとは、出産直後から3か月間に現れやすい症状で、出産された方の半数近くが経験する身近なものであり、治療もできず苦しい思いをしている女性がほとんどである。

**答** 最近では共働きや核家族化が進み、産後の職場復帰も早まる中、産後のサポート体制を最低限の公的インフラとして整える必要があると強く感じている。本市の産後ケア事業の利用料について、近隣市町を参考に軽減してはどうか。

**答** 利用料については、本市は、松前町以外の市町と同様に国の要綱等にならった対応している。産後ケア事業を実施してから5年目を迎え、利用料がここ数年で事業を開始した市町との差が生じていることから、今後の検討課題と考えている。

**問** 本市が利用可能な施設は1か所だけだが、ほかに施設の追加はできないのか。

**答** 需要に変化が見られる場合は検討する。

**問** 産婦健診の具体的な内容は。

**答** 主にアセスメント調査を医療機関等で行う。

産婦健診は、産後2週間から1か月といった産後間もない時期に、出産後の母体の身体的機能の回復状況を確認し、授乳状況や産後の精神状態を把握することで、産後の

母子に対する支援強化を図ることとしている。

具体的には、診察や体重・血圧測定、尿検査、産後うつの質問票などを用いたアセスメント調査を産科医療機関等において実施するものである。

### 幼児教育・保育の無償化

**問** 幼児教育・保育の無償化が令和元年10月1日より開始したが、非課税世帯以外の0歳から2歳までの利用料は無償対象外になるなどさまざまな問題がある。

**答** 本市の0歳から2歳までの保育施設入所者数と無償対象外の子どもの数とを比べると、保育料を全員無償にした場合の財政に与える影響は、

**答** 年間7500万円の財政負担が想定される。

本年4月1日時点における本市の0歳から2歳までの保育施設入所者数は270人、その中で無償化の対象外となっている入所者数は231人である。国や県からの補助が望めないことや、令和2年度の利用者負担の実績などから勘案すると、年間約7500万円の財政負担が想定される。

保育施設の利用料として徴収する保育料を全て無償化することは、財政上の問題に加え、制度上3歳まで教育施設の利用ができない世帯との平等性が確保されないことなども懸念されるため、引き続き、国の制度に添う現施策を推進したい。



伊予幼稚園・うえの保育所合同サッカー大会の様子(令和2年12月)

# 3万人が住み続けられる伊予市へ（居住編） 民間賃貸住宅を市営住宅に！

大野 鎮司 議員



## （答弁）他事例を参考に前向きに検討する

**問**

コロナ禍の影響で経済的なダメージを受けたことで、今後市営住宅を必要とする方が増える可能性がある。市営住宅の建替えとなると、多大な予算が必要で現実的に難しいと思われる。不動産会社と提携し、賃貸住宅の空き部屋を市営住宅として活用してはどうか。

入居条件は市営住宅と同じで、家賃差額を市が補助し、建物の管理、家賃徴収は不動産会社が行えば、市が建替えや維持管理をしなくてよい。

その結果、不動産会社は空き部屋を埋めることができ、市営住宅の希望者が増えても待機することなく入居ができ、3者ともメリットが多く有効な施策と考えるが、早速検討しては。

**答**

本市の公営住宅の入居状況は、6月1日現在、入居率は95・

8%と高い数値となっており、今後公営住宅の不足が想定される。この課題解決策として、ご提案の民間賃貸住宅の活用が考えられ、その手法は、借上げ方式や家賃月額の一部を補助する家賃補助制度等があるが、導入している自治体は、まだごくわずかである。

本市としては、財政的にも、施策的にも有効であると認識しているため、導入している自治体の事例等を参考に前向きに検討を進めたい。

**問**

条件付きで子育て世代も入居できるような市営住宅を推進しては。

**答**

民間賃貸住宅の活用や建替えと併せて検討する。

現在の入居者選考の際に子育て世帯を優先する要件はない。子育て世帯を含む住宅確保に配慮を要する方達への優先入居

については、民間賃貸住宅の活用や建替えと併せて検討する。

急速な少子高齢化、人口減少と大変厳しい現実が迫ってきています。地域活動・自治会・地域防災など、地域で若い担い手は必要です。「3万人が住み続けられる伊予市」「勝ち残る伊予市」のため、思い切った施策を打ち出し、実現することがこれから必要です！



### 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種

**問**

現在、本市でもワクチン接種が順調に進んでいるが、一部の高齢者から予約方法について相談を受けた。インターネットでの予約が難しい高齢者や障がいのある方に対して予約代行窓口などの支援はできないか。

**答**

予約代行は申込みがあれば随時対応している。

本市では、5月6日より、医療機関での個別接種の予約については電話のみ、保健センターでの集団接種についてはウェブと電話の併用でワクチン接種予約を開始した。その後、スムーズな予約を実現するため、一部の医療機関においてもウェブ予約を導入した。

ご提案の予約代行窓口は、集団接種を希望され、予約代行の申し出があった方については、保健センターに來所いただくことで随時対応している。

また、スマホをお持ちの方が、本庁や地域事務所を訪れた際には、適切な対応ができるようマニュアルを作成し、窓口職員に周知している。

現在のところ、これまで接種券を発送した65歳以上の高齢者1万1734人のうち、約90%の方が既に予約を済ませている状況であり、今後も従来どおりの対応でいく考えである。

## 中心市街地の整備

# 市道整備を進め定住政策を！



田中 弘 議員

## (答弁) 市街地における生活環境の向上を図る

**問**

市内の商店街を通ると中心市街地の空洞化が進み、空き家や駐車場が増えていると感じる。交流人口により賑わいを取り戻し、活性化を図ることも必要であるが、市街地での定住人口を増やす政策も必要と考える。

海岸通り線(市道)は、幅員が狭く住民から何とかしてほしいとの意見を聞くが、道路が広くなれば、おのずと住宅が建つのではないかと。

また、空き地・空き家を利用しての市道整備を進め、民間活力を利用した住宅政策を進めては。

**答**

建築基準法では、都市計画区域内の建築物の敷地は、幅員4m以上の道路に2m以上接することとされているが、法が適用された昭和25年以前から建築物が建ち並んでいた場合は、幅員要件が満たされていない

場合もある。

現在、建築物の更新時に発生する道路後退部分は、市に寄付していただくようお願いし、承諾いただけた土地は、市において分筆、所有権移転登記の手続を行った後、維持管理を行っている。

今後も道路後退用地の適切な維持管理を目的にその部分を寄付していただくよう周知啓発に努めることにより、市街地における生活環境の向上を図り、定住人口の増加につなげたい。



幅員が狭く住民からの要望が多い市道(海岸通り線：灘町)

## 光ファイバの環境整備

**問**

コロナ禍の影響もあり、学生のリモート授業、テレワークの推進、地域産業の推進に光ファイバの環境整備は急務である。

中山地域では、未だに回線がADSLの場所もあり、苦労しているという話も聞く。また、移住促進にも整備は必要と考えるが、本市の今後の方針は。

**答**

今後さらに検討を重ねる必要がある。

整備に関しては、本市が検討している民設民営方式では、約9億8千万円という多額の経費が必要であり、この財源の捻出が大きな課題である。

現在、過疎地域持続的発展計画の策定作業を全庁的に進めているが、今回、光ファイバの整備を盛り込むこととし

ている。これに伴い、過疎対策事業債を活用した整備が可能となり、一定の財源確保はできるものと考えているが、事業債の対象外となる部分、約2億9000万円について、今後さらに検討を重ねる必要がある。

**問**

庁舎内と出先機関との接続状況は。

**答**

本庁舎と出先機関は光回線でつながっている。

本庁舎、各地域事務所、保健センター、IYO夢みらい館、各地区公民館は光回線につながっており、それぞれ施設内ではネットワーク整備し、コロナ禍におけるサテライトオフィスとしても利用可能となっている。

なお、下灘コミュニティセンターと佐礼谷支所については、光ファイバ整備は行っているが、現在ネットワークの開放をしていない。

# 制度的な支援はできないか？

吉久 俊介 議員



## （答弁） 制度を活用できるよう検討している

**問**

上灘漁港において4月26日に発生した船舶火災により、漁船21隻が焼失する大惨事が発生した。特にイワシ漁を行う共栄網については16隻のうち8隻が全焼、4隻が半焼という甚大な被害となっており、100年以上続く歴史ある産業の存続そのものが危ぶまれる危機的状況となっている。

現状では、中古艇を譲り受ける予定だが、目に見えない劣化等によって修繕費用が大幅に増大し、保険だけではカバーできない可能性もある。このような場合に備え何らかの制度的な支援はないか。

**答**

中古艇の購入・改造については、県信用漁業協同組合連合会が融資制度を取り扱っているが、原則、承認前の着手が認められておらず、今回の再建を急ぐ漁業者には活用が難しい制度と

なっている。このような中、県信用漁業協同組合連合会と協議を行い、日本政策金融公庫の「農林漁業者セーフティネット資金」の中で、中古艇の購入、操業に係る改造費用についても本制度内で対応ができないか検討を依頼しているところである。

この制度が活用できることになれば、融資に係る利子は、市が補給する方向で検討する。

**問**

共栄網は個人事業主20世帯36人の経営体であり、7世帯が子育て世帯である。今回の被災で既に収入が途絶え、生活が困窮し始めている世帯があると聞いている。生活支援に対する何らかの方策はないか。

**答**

積極的に支援を行う所存である。生活困窮者を誰ひとり出さないことが市の役割と考えている。現在、全課に支援可能な制度の照

会を行っており、この結果を早急に取りまとめ、上灘漁協や共栄網へ減免・猶予が可能な制度等の説明を行いたい。共栄網の再建には複数年の期間が必要となるため、共栄網と連携し積極的に支援を行う所存である。

また、船舶の処分費用や各種融資制度の利子補給に関する予算措置については、十分に精査を行い、補正予算を提案させていただきたい。

船舶等の引上げと処分費用が約1,260万円程度かかり、新造船に至っては、2隻1組で約9,000万円もの費用がかかる上、納期が最短でも2年先となる。事の重大さに鑑み何らかのご支援を期待したい。



### 旧上灘保育所跡地利用

**問** 上灘保育所が移転してから約4か月

余りになるが、跡地に関するその後の進捗状況は。また、上灘地区は、子どもの遊び場が少ないため、可能であれば公園として活用できないか。

**答**

行政内部で検討を行っている状況である。

今後の利用計画は、行政内部で検討を行っている状況であり、議会・市民の皆様へお示しできる段階に至っていないのが現状である。建物に関しては、平成26年度に耐震工事を実施し、耐震上の問題は無いが、外壁の劣化が著しく、下地調整塗材の一部にアスベストを含有していることも判明しているため、今後の転用や貸付は行わず、除却する方向で考えている。

一方、現存する遊具等に関しては、方向性を検討しており、今後、公園としての開放も含め周辺地域の皆様のご意見を賜りながら検討する。

## 南伊予駅周辺の活性化

# あじさいロードの整備をしては？

森川 建司 議員



**(答弁) 今後、本市の観光プランと足並みを揃えたい**

**問**

南伊予駅のあじさい記念植樹から8か月が経つ。南伊予駅周辺の活性化の1つとして花と史跡と田園を巡る「ふれあい歩道構想」仮称「大谷川あじさいロード」を提案する。具体的には、南伊予駅から愛媛森林公園までの約4kmの間に、主として大谷川沿いにあじさい1万本を植栽するとともに、経路沿いにポケットパークや遊歩道、ホタル水路などを整備するものである。

南伊予駅周辺地域の活性化に向けた取り組みの進捗状況は。

**答**

本市ではコロナ収束後を見据え観光振興に特化した2つの計画づくりに取り組んでいる。その1つが、「おもてなしプラン」であり、その中でも南伊予駅周辺地域の活性化については、モデルケースとして特に熟慮した部分である。南伊

予駅一帯を観光・交流の拠点と位置づけ県内外からの観光誘客を進めるとともに、産直市や農家レストラン、子ども達の遊び場や学ぶ場を提供したいと考えており、計画策定後は実現に向け具体的な検討に入る予定である。

**問**

仮称「大谷川あじさいロード」の整備をしては。

**答**

本市が描く観光プランと足並みをそろえたい。

もう1つの計画が、自転車の活用に焦点を当てたもので、南伊予駅・愛媛森林公園・谷上山・ウェルピア伊予を結ぶコースの検討を進めている。

仮称「大谷川あじさいロード」は、まさに本市が進める観光プランを地域住民が後押しいただける構想であり、足並みをそろえることで、一層の効果があると考える。



大谷川沿いに咲いているあじさい。南伊予駅から大谷池までの大谷川沿いをあじさいロードにしたい。

### 歴史教科書の選定

**問**

自由社の教科書が新たに検定に合格したことを踏まえ、5月13日横浜市は、市立中学などで来年度から3年間使う歴史教科書の採択を再び決めた。この判断は、公平性と中学生により良い教科書を選定する可能性を広げるためにも当然の判断だと思う。このことを踏まえ、本市では採択替えをするのか。

**答**

昨年採択の年だったため、今後検討したい。

国からは、「採択替えを

**問**

従軍慰安婦の表現を不適切とする国の決定を受けての対応は。

**答**

国の方針に従う。

国の方針では「すでに検定済みの教科書については、文部科学省からの記述の訂正は求めない」とあり、それに従う。

未来を担う伊予市の中学生が使用する歴史教科書の選定にあたっては、前例踏襲ではなく未来志向で、政府見解の変化に即応し、郷土や日本に誇りを持つことを育むのにより適した教科書を選定していただきたいものです。



# GIGAスクール用パソコンの補償 登下校時に故障した場合は？

平岡 清樹 議員



**(答弁) 現在は使用者負担と考えている**

**問** 国のGIGAスクール構想により、本市も小・中学校に一人一台のパソコン(3300台)を購入し、2学期から使用開始する予定と聞いている。

**答** パソコンは、自宅への持ち帰りが認められていると聞いているが、登下校時に落下させたり、雨で濡れて故障したりした場合の賠償責任は。

**問** 児童生徒の賠償責任の範囲は、パソコンは備品扱いとなるため、学校で不測の事態により故障した場合は、学校修繕費での修繕となるが、自宅への持ち帰り時については、現在は使用者の負担と考えている。

**答** 市や保護者の負担を減らすため、事前に保険に入っておくこともひとつの方法では。

**問** 保険で全てのケースに適用できない部分がある。

**答** 保険において、全てのケースに適用できない部分がある。例えば、使用者の故意による破損、盗難被害ではなく使用者の過失による紛失・水害が適用になるプランであっても、地震を起因とした場合の津波による水害等は適用外となるケースがあるように聞いている。

**問** 補償に関して、経済的に苦しい家庭への配慮は。また、年間882円である程度の補償が付く最安プランの保険であれば、保護者負担も少なく安心を得ることができるのでは。

**答** 保護者負担が少なくなる方法を研究したい。

**問** 経済的理由で配慮が必要な家庭でも、保険の適用外にあたる故意による故障等の部分については、全ての使用者が平等に負担するべきと考える。通常の活用時の故障の場合、保護者に負担を求

める場合でも、承諾が必要となる。パソコンの使用開始まであまり時間もないが、保護者負担がなるべく少なくなる方法について、研究を行いたい。

## 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種

**問** ワクチンを廃棄しないように、きめ細かな対応が構築されているのか。

**答** 適切な保管方法について周知を図っている。

**問** 集団接種(保健センター)におけるワクチンの保管は、専用ブレーカーを電源に配備し、超低温冷凍庫を使用して、マイナス75度(プラスマイナス15度)での保管としている。

**答** 個別接種(医療機関)は、冷蔵庫を使用し、2度から8度で保管することとされており、適切な保管方法についても周知を図っている。

**問** この事業が終了した後、この経験を今後に生かすため、市役所内で情報共有し、災害時などにも応用することができないか。

**答** 本事業が終了したら配慮したいと考えている。

**答** ワクチン接種が始まって1か月が経過したばかりであり、国が示す7月末までの接種完了に向けて、鋭意取り組みを進めている最中である。本事業が終了した際には、ご提案について配慮したいと考えている。



集団接種訓練を経験したことで県内市町の中でも高い接種率でスムーズな運営が行われている。

## 認定こども園の設置

# 市立幼稚園2園の方向性は？

田中 慎之介 議員



## (答弁) 認定こども園とする方針である

**問**

幼稚園と保育園とを一体化させる認定こども園のメリットは、2つの建物を一つにする財政的なメリットに終わる話ではない。後期基本計画では、目標の設置数を7としており、現在は5施設(公立1、私立4)設置しているが、残り2つの設置については、市立幼稚園2園を公設公営のこども園とする方向で間違いないのか。

**答**

市立幼稚園2園については、各施設の入所者の状況や集団教育・保育の必要性、施設の運営状況などを総合的に検討し、適切な時期に公設公営の認定こども園として設置する方針である。

**問**

公立のこども園を設立するにあたり、本市として、どのようなこども園を設立したいと考えているのか。

**答**

公立保育所の基本方針に基づき整備を進めてきている。

本市では、子ども子育て支援事業計画に基づき施策を推進している。その基本目標として幼児期の学校教育・保育の充実と、地域における子育ての支援などを掲げている。その目標を達成するため、就学前の子どもに関する教育・保育や、地域における子育て支援を総合的に提供する拠点施設の一つとして認定こども園を位置づけ、「公立保育所の適正規模及び民営化基本方針」に基づき整備を進めてきている。

**問**

幼稚園では、リフレッシュを目的とした預かり事業などが現状できていない。認定こども園では期待できるのか。

**答**

15時以降の預かりも可能となり、期待できる。

リフレッシュを目的と

## 子どもたちの居場所

**問**

公園での自転車使用やスケートボード等の使用が禁止になっているのは安全面での配慮と考えられるが、特に子どもの自転車練習をする場所は、確保できないか。安全に練習できる場所があれば、公園内の事故も防ぐことができるし、保護者も喜ぶのでは。

**答**

しおさい公園の未使用部分を候補の一つと考えている。

子どもの自転車練習を

子どもは自転車もスケートボードもコケながら覚えていくものです。そういう意味で、しおさい公園などは、敷地も広く安全面からとても適した場所だと思いますので、ぜひ実現してほしいですね！



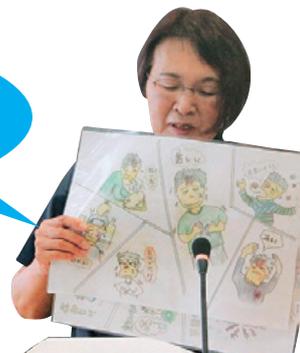
する場所は、保護者の方が付き添うなど、ほかの利用者に迷惑や危険を及ぼさないことが前提となるが、公園を利用することは問題ないと考えている。また、スケートボードの練習ができる場所は、目安箱にも提案が寄せられており、現時点では、しおさい公園の未利用地部分を候補の一つとして考えている。

しかし、整備には多額の費用が必要となるため、直ちにとはならないが、実現に向け検討をしたい。今回の自転車利用も含め、施策の位置付けや整備費用、財源などを踏まえ検討したいと考えている。

居心地のいい避難所(障がい者のために)

# 「絵カード」を作成しては？

(答弁) 使用方法等について協議したい



川口 和代 議員

**問**

本市は、災害が少なく住みやすい場所だが、最近の異常気象をみると油断できない状況である。災害が発生した場合、避難所生活が長くなることも予想されることから、少しでも快適に過ごせるような避難所にしてほしい。

避難所においては、さまざまな障がいのある方がいると思われるが、例えば、聴覚障がい者のSOSを見逃さないための「絵カード」やベスト、バンドナ(耳が不自由です。お手伝いをお願いしますと書いたもの)を作成して各避難所に配布できないか。

**答**

絵カードが既存の資機材で加工できるものであれば、その使用方法等について協議したい。また、ベストやバンドナについても、使用方法等について検討したい。

川口議員



聴覚障がいのある方に対する手話通訳者を派遣しての傍聴の様子

**問**

令和元年12月議会で質問した郡中学校屋内運動場トイレの洋式化の進捗状況は。

**答**

交付金が活用できるまでお待ち願うこととなる。屋内運動場は、今年度で建築後38年が経過するが、交付金を活用する場合は、建築後40年以上の建物に適用されるとの条件があるため、今しばらくお待ち願うこととなる。

**問**

地域防災計画を作成する防災会議の女性委員の割合を増やしては。また、危機管理課に常勤女性職員を配置し、意思決定の場や防災現場に女性の視点を。

**答**

防災会議の女性委員は人材の発掘に努めたい。

防災会議の委員19人のうち女性は2人である。災害対策に女性の視点を反映することは重要であるため、促進されるよう人材の発掘に努めたい。危機管理課への女性職員の配属は、昨今の防災意識の高揚により、女性防災士も増加しているため、今後の配置については検討したい。

**問**

市設の集客施設やJR伊予市駅、五色姫海浜公園などに授乳室やおむつ交換代を備え付けては。また、小部屋を整備できない場合は、可動式個室ベビーケアルームを導入しては。

**答**

ベビーケアルームは慎重な検討が必要である。目的の施設における清潔な授乳室やおむつ交換台の備付けは、子育て世帯の安心感の醸成と活動

子育て世代に  
優しいまちに



今年リニューアルした「ふたみシーサイド公園」にはベビーケアルームを設置しています。

そのほかに、子育て世代のために北新川・米湊地区の新興住宅地に公園や広場を整備しては？と提案しましたが、県の開発基準では、規模が3,000㎡未満の場合は、公園の設置義務はないみたいですね…。



範囲の拡大等に貢献するものと考えている。可動式個室ベビーケアルームは、安価で工事不要、移動可能というメリットがあるが、手洗いや調乳ができないデメリットも想定されるため、導入にはなお慎重な検討が必要と認識している。



## 政務活動費を公開します！

市ホームページも  
ご覧ください！

令和2年度(2年4月～3年3月)における議員別の政務活動費の支出内訳を公開します

[令和3年4月現在]

市	交付対象	交付額(月額)
松山市	議員	102,000円
今治市	会派/議員	30,000円
四国中央市	議員	20,000円
新居浜市	会派	18,000円
西条市	会派/議員	15,000円
東温市	議員	15,000円
八幡浜市	会派/議員	15,000円
西予市	会派/議員	10,000円
宇和島市	会派/議員	10,000円
伊予市	議員	10,000円

大洲市は、交付なし。

○県内11市の交付額は？

※市ホームページで議員個人の収支報告書と領収書などの関係書類を公開しています。

○政務活動費とは？  
地方自治法並びに市の条例に基づき、議員の調査研究その他の活動に役立つるために必要な経費の一部として交付されるもので、本市は、1人当たり年額12万円を交付しています。

政務活動費は、主に広報費や研修費として使用されています。

### 令和2年度 政務活動費収支一覧表

議席番号	氏名	交付額A	執行額B	差引額A-B	戻入額※	支出科目									
						調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費
1	森川建司	120,000	53,380	66,620	66,620							53,380			
2	吉久俊介	120,000	0	120,000	120,000										
3	川口和代	120,000	76,084	43,916	43,916							76,084			
4	向井哲哉	120,000	122,729	△2,729	0			88,055			30,900	3,774			
5	平岡清樹	120,000	140,683	△20,683	0			140,683							
6	高田浩司	120,000	48,374	71,626	71,626						5,372	43,002			
7	大野鎮司	120,000	88,514	31,486	31,486			52,031			33,883	2,600			
8	門田裕一	120,000	132,085	△12,085	0	14,200		35,030			36,421	46,434			
9	日野猛仁	120,000	91,800	28,200	28,200			89,200				2,600			
10	北橋豊作	120,000	96,576	23,424	23,424		880				7,683	88,013			
11	佐川秋夫	120,000	0	120,000	120,000										
12	谷本勝俊	120,000	90,160	29,840	29,840							90,160			
13	正岡千博	120,000	83,274	36,726	36,726			23,000			10,200	50,074			
14	田中裕昭	120,000	60,984	59,016	59,016							60,984			
15	武智 実	120,000	0	120,000	120,000										
16	久保 榮	120,000	2,600	117,400	117,400							2,600			
17	田中 弘	120,000	138,600	△18,600	0			138,600							
18	若松孝行	120,000	0	120,000	120,000										
19	水田恒二	120,000	122,993	△2,993	0			98,793						24,200	
合計19名		2,280,000			988,254	14,200	880	665,392	0	0	0	124,459	519,705	0	24,200

※交付額よりも支出額の多い議員は、戻入額を0と表記

## 連載企画 第1回目

# 議員のよこがお

今期もやります！

- ① 森
- ② 愛妻・納税・墓参り
- ③ ふたみ潮風ふれあい公園 (子どもが一番好きな公園です！)
- ④ 月曜の朝に向井原駅前に立って演説している顔の大きい男が私です！チラッと見ていただけるだけで嬉しいです。私のFacebookもチラッとのぞいていただけると嬉しいです！



たなかしのすけ  
**田中慎之介** 議員

- ① 下吾川(新川)
- ② 日々此人生成
- ③ 谷上山公園の桜
- ④ 初めまして！新人議員の金澤です。介護施設の運営に関わりながら行政書士も勤めております。24年間の行政経験を活かし、伊予市の行政と市民の仲介役として頑張ります。

かなざわ いさお  
**金澤 功** 議員



- ① 上吾川
- ② 粉骨砕身 地域に尽くす
- ③ 双海町上灘
- ④ 食料自給率アップのためにも魅力ある農業の振興、食育を大切に！



まさおか みつる  
**正岡 満** 議員

- ① 上三谷
- ② 世のため人のため  
山は樹を以て茂り国は人を以て盛なり
- ③ 南伊予駅～えひめ森林公園
- ④ 「市民の困りごと」を解決するため、市政チェックや政策提言を愚直にやっています！

もりかわ けんじ  
**森川 建司** 議員



- ① 双海町上灘
- ② 出来ない理由ではなく出来る方法を探れ
- ③ 双海町下灘「満野空」から望むしまなみは普段と違う絶景が見られます！（天気良ければ青島の向こう側まで見られます。）
- ④ 「豊かな自然の中で快適なりモート生活」が可能な伊予市を目指しましょう！



よしひさ しゅんすけ  
**吉久 俊介** 議員

市民の皆様へ伊予市の議員を少しでも身近に感じていただくために今期も全員の簡単な自己紹介をします！

- ① 住まい
- ② 座右の銘
- ③ 伊予市のおすすめスポット
- ④ 市民のみなさまへ！

※今回は6人の掲載(議席順)とします。残りの議員は次回以降に掲載する予定です。

- ① 米湊
- ② やらない後悔よりやる後悔
- ③ 伊予港の夕日、赤灯台
- ④ 「愛あるクレーマー」として、女性の声を市政に届けます！女性議員を増やすことが私の役目だと自覚し、伊予市をキョロキョロします！

かわぐち かずよ  
**川口 和代** 議員



## 初の取り組み 第1回 議員勉強会を開催しました！



市議会初の取り組みとして、6月議会を開催するにあたり、事前に提出議案を多角的に審議し、議員間で切磋琢磨できる場とする議員勉強会を開催しました。第1回目の内容は、第5期のスタートに際し、新議員向けに理事者側から簡易な説明を受けながら、自由な形での質疑応答を行いました。

議長となって公約の一つであった勉強会を開催することができました。多くの議員に参加していただき、普段聞けないような質問も出て有意義な会でした！



ひの議長

## 議会改革特別委員会 報告

# 議員研修として講演会を開催しました！

5月7日の臨時会で  
議会改革特別委員会  
を設置しました！



かわぐち  
副委員長

議長以外の全議員(16人)で構成する議会改革特別委員会を令和3年5月7日(金)に設置し、5月14日(金)に第1回目の委員会を開催し、正副委員長の互選をしました。〔委員長：大野鎮司 副委員長：川口和代〕

5月25日(火)には第2回目の委員会を開催し、議員研修として、松山大学法学部教授 妹尾克敏(せのお かつとし)氏をお招きして「自治体議会の存在理由と議員の本分とは何か?」と題し、有意義な講演を行っていただきました。今後は、議会改革における調査項目を決定し、随時、調査を進めてまいります。



今回約10年ぶりに講演会を開催しました。他自治体の議会の裏話などを交えた大変貴重なお話をいただきました。当日は議員全員に著書もいただき、今後の議員活動の参考にしたいと思います！



おおの委員長

## 議会広報調査特別委員会 報告

# 議会広報調査特別委員会を設置しました！

私たち6人で  
活動します！



もりかわ  
副委員長



### 主に「議会だより」の編集と「議会ポスター」を作成します！

議員6人で構成する議会広報調査特別委員会を令和3年5月7日(金)に設置し、5月14日(金)に第1回目の委員会を開催し、正副委員長の互選をしました。

〔委員長：吉久俊介 副委員長：森川建司〕

定例会ごとに年4回の議会だよりを発行し、また、議会ポスターも定例会ごとに作成し、市内各所に議員自らが出向き、掲示させていただいています。



6月議会のポスターです。たくさんの人に  
来ていただきました！

よしひさ委員長

## 編集後記

議員の顔ぶれも変わり、新たな4年間がスタートしました。

決意も新たに親しみやすい議会だよりをお届けしていきますので、市民の皆様、よろしくお願いたします。

コロナ禍の中、人が集まる催しはほとんど中止という状況が続いています。ですが、出口戦略を考える時期にきていると考えています。どうやったら再開できるか、どうやったらうまくやれるのか、ともに知恵を出し合って、この難局を乗り越えましょう！

議会広報調査特別委員会 〔委員長〕吉久俊介 〔副委員長〕森川建司  
〔委員〕川口和代 向井哲哉 平岡清樹 大野鎮司



よしひさ委員長